

# 香川県立飯山高校 3年生の方が体験に来られました

7月25日



かがわ健康福祉機構 岡田専務理事より、「高齢者の福祉」について講義がありました。

高齢化の進展や高齢者医療制度、介護保険制度について学びました。

高齢者疑似体験をしました。80歳の身体で日常生活の動作を体験しました。



ワイシャツのボタンをつけたり外したりしました。細かい作業は、指先も思うように動かず、ボタンも見えにくく、とても大変です。



お買い物体験をしました。色覚の変化から、硬貨の色が分かりにくく、一枚ずつ確認しながら支払います。硬貨がつかみにくく、とても時間がかかります。



浴室への出入りを体験しました。関節が曲がりにくく、ゆっくりとした動きになりました。腰を掛けられる椅子や、支えになる手すりがあると、とても便利です。

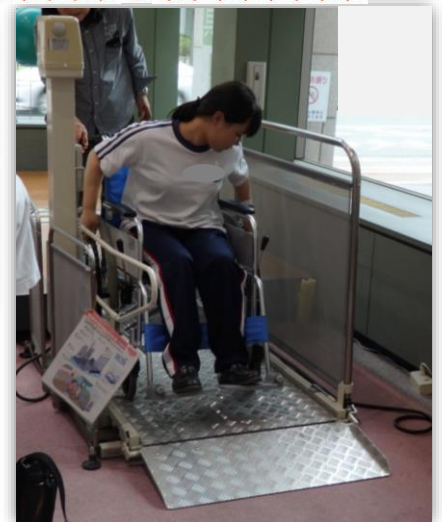
福祉用具展示場見学 できないことをできるようにするための、便利な福祉用具がたくさんそろっています。



手の力がない方でも持ちやすいピンセット箸です。右手でも左手でも使えます。利き手と逆の手で持ち、大豆を掴めるのか体験しました。



様々な種類の車いすに乗りました。どのような方が利用すると便利なのか、特徴について学びました。



バリアフリー体験をしました。自宅の玄関の段差も段差解消機があれば、自分が出かけたい時に、いつでも車いすで外出できますね。



リフト体験をしました。人の力で持ち上げることは、介護する側・される側双方において負担となります。リフトを使うことで安全・安心に車いすへ移乗できることが分かりました。

感想 今日の体験を、今後の臨地実習や将来の医療・福祉職場で活かしていきたいと思います。